

採択大学：沖縄科学技術大学院大学（強化を図る機能：①、②、③）

連携大学：慶応義塾大学、琉球大学 参画機関：東北大学、東京大学、大阪大学、九州大学、理化学研究所、ケンブリッジ大学、マックスプランク研究所、スタンフォード大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校 スクリップス海洋研究所、ハワイ大学、フランス国立科学センター、チャルマース工科大学、オックスフォード大学

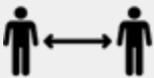
取組内容の概要

ビジョン策定の背景

- 設立10年で研究力国内トップ・世界最高水準であるが、未だ成長過程・発展途上であり、
- 研究組織は「約90PJ」と小規模、研究分野も限定的である【組織規模・分野の制約】
- 国際性豊かであるが故にコミュニケーション確保が難しい側面がある【言語・文化の壁】
- 「沖縄・恩納村」という地理的にアクセスや移動が困難な位置にある【立地・距離の壁】



- ✓ OISTの国際性・先端性・研究資源等が、国内大学・企業・地域等に十分に還元できていない
- ✓ 研究者・URA・技術職員・事務職員について、国内大学・企業・地域等との交流が進んでいない
- ✓ 沖縄振興や我が国の経済社会への発展への貢献は道半ば
- ✓ 国費に依存せず、民間資金等の獲得による財源多様化、自立的財務基盤の確立が急務



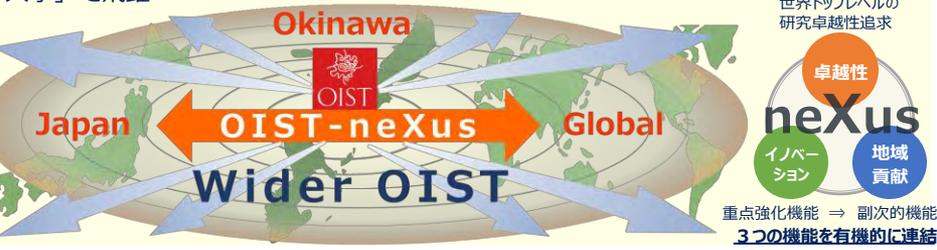
課題を克服し、「neXus（繋がる）」を基軸とした大胆な改革を断行すべく、大学ビジョン等グランドデザインを設定



研究支援体制強化や研究環境整備を図り、先に採択された施設整備事業との相乗効果を創出し、研究活動を海外・国内・沖縄県内に拡張させて国際脳循環や施設・設備の共同利用等を促進するなど、我が国の研究力強化を牽引する研究大学群の一翼を担うべく総力を挙げた改革を断行

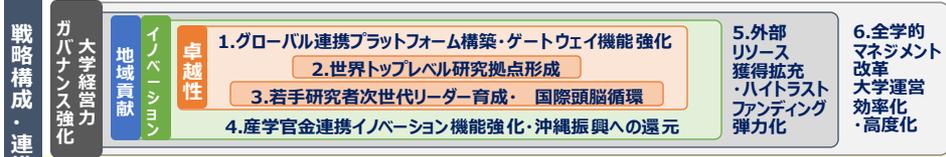
研究力が向上した10年後の大学ビジョン：OIST-neXus

- バイオ・量子研究等における国際的に卓越した拠点機能等を基盤に、大学院生・ポスドク等若手研究者を含めた全てのOIST研究者・職員の英知や、大学の有する世界水準の研究リソース・ポテンシャルを発掘・連結させて全学的に横展開し、組織的取組へと発展、「Curiosity-Driven」の先端学際研究を推進
- OISTが「日本と世界を繋ぐ架け橋」となり、「沖縄」を起点に、世界・国内の大学・研究者のシームレスで持続的な国際連携・頭脳循環を促進し、多様な産学官金パートナーと密接に繋がることで、グローバルワイドなプラットフォーム「Wider OIST」を構築し、組織規模や立地の制約、言語・文化の壁等を克服して、研究力・運営基盤を最大化・強靱化
- 世界水準の卓越した研究力や国際性、学際性を抜本的に強化するとともに、「One World One Health」や「沖縄振興」等、世界的・地域的な課題解決や破壊的イノベーション創出等を加速化させることで、「21世紀の魅力ある大学像」を提示して「世界と伍する研究大学」に成長し、「“Best in the World”の大学」へと飛躍



大学ビジョン実現のための戦略（6つの柱・17の取組・連携機関）

1. グローバル連携プラットフォーム構築 ゲートウェイ機能強化	① 海外・国内の大学・企業等との連携強化 ② コアファンシティ整備・国際共同利用促進 ③ 研究支援員育成システム構築	
2. 世界トップレベル研究拠点形成	④ 戦略的オープンクラスター構築 ⑤ 次世代クラスター分野創出	
3. 若手研究者次世代リーダー育成 国際脳循環	⑥ 研究を主宰する若手フルPIポスト創設 ⑦ 次世代リーダーキャリア開発システム構築 ⑧ 海外・国内交流・頭脳循環システム構築	
4. 産学官金連携イノベーション機能強化 沖縄振興への還元	⑨ 産学官金コラボレーションシステム構築 ⑩ 社会実装・地域課題解決システム構築 ⑪ グローバルスタートアップ創出システム構築	
5. 外部リソース獲得拡充 ハイトラストファンディング弾力化	⑫ 海外・大型研究 Grant 獲得体制強化 ⑬ 企業寄附獲得体制・渉外活動強化 ⑭ ハイトラストファンディング運用弾力化	
6. 全学的マネジメント改革 大学運営効率化・高度化	⑮ 学長主導マネジメント体制強化 ⑯ 卓越人材獲得等事務機能高度化 ⑰ 研究支援業務DX推進	



（連携大学） 慶応義塾大学、琉球大学 ※施設・設備共同利用化、連携支援スタッフ配置等リソース共有化
 （参画機関） 東北大学、東京大学、大阪大学、九州大学、理化学研究所、ケンブリッジ大学、マックスプランク研究所、スタンフォード大学、カリフォルニア大学、ハワイ大学、フランスCNRS、チャルマース工科大学、オックスフォード大学
 ※組織連携強化

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

Academia

ヒト・カネ・モノ・スペース等

Under One Roof

ヒト・カネ・モノ・スペース等

Industry

【連携機関15機関】
(連携大学2機関)

慶應義塾大学 ※研究連携支援
スタッフ配置

琉球大学 ※産学連携
コーディネーター配置
(参画機関13機関)

＜うち国内5機関＞
東北大学、東京大学、
大阪大学、九州大学、理化学研究所

＜うち海外8機関＞
ケンブリッジ大学、
マックスプランク研究所、
スタンフォード大学、
カリフォルニア大学スクリブス研究所、
ハワイ大学、フランスCNRS、
チャルマース工科大学、
オックスフォード大学

【その他関係機関】
※地域中核大学施設事業関連
沖縄工業高等専門学校、
沖縄県立芸術大学、京都大学、
東京工業大学、筑波大学、一橋大学、
ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、
ジェームズクック大学、ソルボンヌ大学、
フランス国立高等研究実習院、
ワイツマン科学研究所、
カタリニアナノサイエンステクノロジー研究所

＜自治体＞
沖縄県、恩納村 他

＜政府関係＞
内閣府沖縄振興局、
沖縄総合事務局、
経済産業省、NEDO、
※沖縄振興策における連携
スタートアップ政策
海洋研究開発機構 他

Government

ヒト・カネ・モノ・スペース等

OIST-neXus 戦略推進機構



- OIST-neXus戦略実行における「最高意思決定組織」として新設
- 学長のリーダーシップの下、OIST構成員が一致団結した「全員参加体制」を構築
- 「産学官金連携・アンダーワンルーム型」の運営により、「組織対組織」の連携を強化して「対話・共創・協働の場」を創出し、OIST-neXus戦略を推進、「Wider OIST」を実現
- 従来型の形式会議に留まらない、課題・状況等に応じたフレキシブルな運営・迅速な対応

全体総括責任者 学長：カリン・マルキデス

戦略実行総括 プロボスト：エイミー・シェン

- ＜構成員：50名規模＞
- 戦略実行チーム責任者
 - OISTエグゼクティブメンバー
 - 連携機関代表
 - 連携企業・金融・VC・自治体代表
- ※オブザーバー参加も可能

産学官金連携による
対話・共創・協働の場

※「機構全体会議」に加え、コアメンバーによる
「ステアリングコミティ会議」、個別課題に対応
した「課題別ワーキンググループ会議」を設置

状況報告

実行指示

実行指示

状況報告

OIST-neXus戦略実行チーム 70名規模

17の取組それぞれに責任者を配置し、
その下に組織横断型チームを編成
産学官金連携機関も各チームに参画

※新たに獲得するURA等スタッフ30名規模参画
※企業・自治体含む連携機関交流ポスト20名配置

評価検証
総合調整

第三者評価
現場支援

プランニング・ユニット 10名構成

具体的な戦略・取組等の企画
立案・総合調整・評価検証
等を実施
※マネジメント
人材獲得配置

2つの
ユニットが
連携・協働

ファシリテーション・ユニット 10名構成

戦略実行チーム・関係セクション等
との現場調整・対話・実務サポート
※コーディネーター人材獲得配置

国際アドバイザリーボード 7名構成

評価検証結果を踏まえた国際パネルによる第三者評価実施
※国内・海外の学識者・経営者等委嘱

OIST全組織 (PI研究ユニット・セクション・ディビジョン等)

沖縄バイオコミュニティ拠点 卓越した拠点機能の融合・学内横展開 沖縄型スタートアップ集積拠点
グローバル・バイオコンバージョンイノベーション拠点 量子国際教育研究拠点 J-Innovation HUB地域オープンイノベーション拠点

Global Platform

ヒト・カネ・モノ・スペース等

※共同研究等研究開発・寄附獲得
スタートアップ連携・社会実装等
オープンイノベーション推進
博士人材キャリア開発 等

Global Network

＜企業＞

NTTドコモ、東芝、
サントリHD、
ソニーCSL、
SCSK、
コランダム・システム・バイオロジー、
ミサワホーム、
3M、ZEISS、
CREATIVE LAB、
Shinetsu、DBIC、
datamix、
YOKOGAWA、Rigaku、
オリオンビール、EFポリマー、
ノバルティスバイオメディカル研究所、
Enovik、
Cirro360、
Boehringer Ingelheim
(連携協議中の企業を含む代表例)

¥

Global Network

＜金融・VC＞

日本政策投資銀行、
ライフタイムベンチャーズ、
ユニゾンキャピタル、
沖縄振興開発金融公庫、
沖縄銀行、
INSPIRE
(連携協議中の機関を含む代表例)

※経営支援・投資拡充
スタートアップ創出
研究開発・社会実装推進 等

Finance

取組内容の時系列イメージ

研究力向上 OIST-neXus 戦略	助走・準備期間	基盤強化期間		戦略推進期間			成長加速期間	
		スタッフ採用等実行体制・研究設備・制度等整備		組織連携本格化、リソース獲得・取組推進、戦略内容改善充実			戦略・取組・リソース大幅拡充・運営自立化	
17の取組 <連携機関の役割>	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029~2033年度	
① クリティカル・マス実現のための海外・国内の大学・企業等との連携強化 <ビクター派遣、ミララボ設置・プログラム参画連携大学（慶應大・琉大）における支援スタッフ配置等>	◆ 文科省オープンイノベーション推進（前倒し実施） ◆ 経産省インキュベーションセンター（海外） ◆ 関係府庁・関係機関との連携 ◆ コアファシリテーター（海外） ◆ 関係機関との連携	> 海外・国内からの多様な学術分野の研究者招聘「学際研究推進ビクタープログラム」実施 ビクター100名 ⇒ ビクター300名 ⇒ ビクター600名 ⇒ ビクター800名 ⇒ ビクター1000名 > OISTと国内連携大学・企業等との連携による「研究者循環型ミララボ」整備 2ラボ・40名交流 ⇒ 9ラボ・90名 ⇒ 15ラボ・150名 ⇒ 20ラボ・200名 ⇒ 25ラボ・250名 > OISTをハブとした海外大学と国内大学の「ゲートウェイ・ジョイントプログラム」実施 2プログラム・20名交流 ⇒ 6プログラム・60名 ⇒ 8プログラム・80名 ⇒ 8プログラム・80名	> コアファシリテーター基盤強化のための「世界最先端研究機器」整備 世界最高5台 ⇒ 世界最高15台 ⇒ 世界最高20台 ⇒ 世界最高25台 ⇒ 世界最高30台 > コアファシリテーター運営・支援体制強化のための「国際共同利用システム」構築 共同利用100名 ⇒ 共同利用200名 ⇒ 共同利用600名 ⇒ 共同利用1000名 ⇒ 共同利用1500名	> 研究支援員対象の「グローバル研修プログラム」実施 受講者34名 ⇒ 受講者36名 ⇒ 受講者68名 ⇒ 受講者70名 ⇒ 受講者70名	> 特定分野における海外・国内大学・研究者・企業開発者との研究連携・拠点形成プログラム 3拠点・研究者60名 ⇒ 3拠点・研究者150名 ⇒ 3拠点・300名 ⇒ 4拠点・400名 ⇒ 4拠点・500名	> 将来的なクラスター候補分野におけるPIユニットと海外・国内等との連携プロジェクト支援 2拠点・研究者40名 ⇒ 3拠点・研究者60名 ⇒ 3拠点・90名 ⇒ 3拠点・90名 ⇒ 3拠点・120名	◆ 支援期間終了後、自己財源（獲得した外部リソース及び学内リソース配分見直し等）により戦略を継続・拡大 ◎ 研究卓越性 ◎ イノベーション ◎ 地域貢献 ◎ 論文被引用度・トップ1%論文・国際共著率・トップ研究者比率等で世界トップ大学を超越 ◎ 共同研究件数・共同研究費・スタートアップ創出数・資金調達額・社会実装数等を大幅拡充 ◎ スタートアップ新規売上・雇用創出・沖縄県内経済波及効果・交流人口拡大経済効果等を創出	
② 世界最高水準のコアファシリテーター整備、海外・国内との共同利用推進 <コアファシリテーター共同利用・相互利用連携大学（琉大）における共同利用設備整備等>		> 「OIST独立若手主任研究員（プレPI）」制度創設 プレPIポスト2名 ⇒ プレPIポスト4名 ⇒ プレPIポスト6名 ⇒ プレPIポスト8名 ⇒ プレPIポスト10名 > 「卓越若手研究者ビクタープログラム」実施 ビクター20名 ⇒ ビクター40名 ⇒ ビクター60名 ⇒ ビクター80名 ⇒ ビクター100名	> 大学院生・ポスドクを対象とした「革新的トレーニングプログラム」実施 参加者30名 ⇒ 参加者40名 ⇒ 参加者60名 ⇒ 参加者80名 ⇒ 参加者100名 > 大学院生・ポスドク等若手研究者チームによる「自立型研究プロジェクト」実施 参加者20名 ⇒ 参加者30名 ⇒ 参加者40名 ⇒ 参加者50名 ⇒ 参加者50名	> 連携機関との大学院生・ポスドク交流による「頭脳循環促進エクステンジブプログラム」実施 交流・循環10名 ⇒ 交流・循環20名 ⇒ 交流・循環40名 ⇒ 交流・循環40名 ⇒ 交流・循環60名	> 共同研究等のきっかけとなる産学官交流・対話促進のための環境・支援体制整備 産学官交流200名 ⇒ 交流・対話300名 ⇒ 交流・対話600名 ⇒ 交流・対話750名 ⇒ 交流・対話900名	> 海外・国内・地域の産学官金との大型共同研究開発に向けた「POCプログラム」実施 プログラム実施2件 ⇒ 実施4件 ⇒ 実施6件・社会実装2 ⇒ 実施6件・社会実装4 ⇒ 実施6件・社会実装6 > 地域関係機関等との連携による「地域課題解決プログラム」実施 プログラム実施2件 ⇒ 実施4件 ⇒ 実施8件・社会実装2 ⇒ 実施8件・社会実装4 ⇒ 実施10件・社会実装8		> OISTの海外・国内連携機関等とのネットワーク基盤を活かしたスタートアップ創出機能強化 スタートアップ40社 ⇒ スタートアップ45社 ⇒ スタートアップ50社 ⇒ スタートアップ55社 ⇒ スタートアップ60社
③ グローバルに活躍できる研究支援職員育成システム構築 <研修参画>		> 資金獲得のための情報リサーチや申請サポート等を行う「特別支援チーム」設置 獲得2億円 ⇒ 獲得4億円 ⇒ 獲得6億円 ⇒ 獲得10億円 ⇒ 獲得15億円	> 海外や国内全域への戦略的な交渉・渉外活動等を行う「特別渉外チーム」設置 獲得0.2億円 ⇒ 獲得1億円 ⇒ 獲得1.5億円 ⇒ 獲得2億円 ⇒ 獲得3億円	> 外部資金獲得や地域貢献等多面的評価を行うための審査委員増強・研究データベース整備 再配分2億円 ⇒ 再配分3億円 ⇒ 再配分5億円	> 研究力強化戦略の企画立案や実行、評価検証等を実行するための体制・システム構築 連携機関参画2ポスト ⇒ 参画4ポスト ⇒ 参画6ポスト ⇒ 参画8ポスト ⇒ 参画10ポスト	> 副業や高額報酬、人事交流等の多様な手段による優れた事務職員の戦略的な採用・獲得 卓越アドミニ・副業7名 ⇒ 卓越副業12名・▲3名 ⇒ 卓越副業19名・▲5名 ⇒ 卓越副業26名・▲7名 ⇒ 卓越副業28名・▲8名		> 研究支援部門における管理運営業務DX化、学外アクセシビリティ・情報セキュリティ向上 リモートアクセス50件 ⇒ リモート100件 ⇒ リモート200件・▲2名 ⇒ リモート300件・▲5名
④ 戦略的オープンクラスター構築に向けた海外・国内連携システム整備 <拠点活動参画>		> 海外・国内・地域の産学官金との大型共同研究開発に向けた「POCプログラム」実施 プログラム実施2件 ⇒ 実施4件 ⇒ 実施6件・社会実装2 ⇒ 実施6件・社会実装4 ⇒ 実施6件・社会実装6 > 地域関係機関等との連携による「地域課題解決プログラム」実施 プログラム実施2件 ⇒ 実施4件 ⇒ 実施8件・社会実装2 ⇒ 実施8件・社会実装4 ⇒ 実施10件・社会実装8	> OISTの海外・国内連携機関等とのネットワーク基盤を活かしたスタートアップ創出機能強化 スタートアップ40社 ⇒ スタートアップ45社 ⇒ スタートアップ50社 ⇒ スタートアップ55社 ⇒ スタートアップ60社	> 資金獲得のための情報リサーチや申請サポート等を行う「特別支援チーム」設置 獲得2億円 ⇒ 獲得4億円 ⇒ 獲得6億円 ⇒ 獲得10億円 ⇒ 獲得15億円	> 海外や国内全域への戦略的な交渉・渉外活動等を行う「特別渉外チーム」設置 獲得0.2億円 ⇒ 獲得1億円 ⇒ 獲得1.5億円 ⇒ 獲得2億円 ⇒ 獲得3億円	> 外部資金獲得や地域貢献等多面的評価を行うための審査委員増強・研究データベース整備 再配分2億円 ⇒ 再配分3億円 ⇒ 再配分5億円		> 研究力強化戦略の企画立案や実行、評価検証等を実行するための体制・システム構築 連携機関参画2ポスト ⇒ 参画4ポスト ⇒ 参画6ポスト ⇒ 参画8ポスト ⇒ 参画10ポスト
⑤ 次世代クラスター分野創出によるユニット連携・大学連携強化 <研究者参画>		> 産学官交流・対話1500名 共同研究費等15億円	> POCプログラム実施10件 社会実装10件 地域課題解決プログラム実施20件 社会実装20件	> スタートアップ創出100社 資金調達額100億円	> 国内外ファンド申請40億円 国内外ファンド獲得20億円	> 企業等訪問年間600件超 寄附金獲得5億円		> ハイラストファンディング 再配分10億円規模相当
⑥ 若手研究者が研究プロジェクトを主宰する新たなポスト創設 <ビクター派遣等>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑦ 次世代リーダー育成のためのキャリア開発システム構築 <プログラム・プロジェクト参画>		> 産学官交流・対話1500名 共同研究費等15億円	> POCプログラム実施10件 社会実装10件 地域課題解決プログラム実施20件 社会実装20件	> スタートアップ創出100社 資金調達額100億円	> 国内外ファンド申請40億円 国内外ファンド獲得20億円	> 企業等訪問年間600件超 寄附金獲得5億円		> ハイラストファンディング 再配分10億円規模相当
⑧ 海外・国内との若手研究者の交流・頭脳循環を促進するためのシステム構築 <若手派遣・受入>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑨ 外国人研究者と産学官関係者との対話促進のためのコラボレーションシステム構築 <参画>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑩ 海外・国内・地域の産学官金との共同研究・社会実装推進のためのシステム構築 <プログラム参画>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑪ 産学官金連携強化によるグローバルスタートアップ創出システム構築 <施設・ネットワーク共有化>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑫ 海外研究グラント・大型研究グラント獲得のための体制整備 <共同申請・ノウハウ共有化>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑬ 寄附金等獲得のための海外企業・国内企業等との連携促進に向けた体制整備 <情報共有化>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑭ ハイラストファンディングの運用弾力化・審査体制強化及び研究成果可視化 <審査協力等>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑮ 学長主導のマネジメント改革促進のための戦略的組織の整備 <交流ポスト派遣>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑯ 副業や人事交流、卓越した事務職員の戦略的獲得を通じた事務機能の高度化 <人事交流等>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名
⑰ DX推進による研究支援業務等の効率化・高度化 <リモート利用等>		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名	> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名		> 若手交流・循環インターン派遣50名・インターン受入50名

研究力向上 OIST-neXus ビジョン

評価検証・戦略計画反映等PDCAサイクル実行	評価検証・国際パネル外部評価実施	中間評価	評価検証・国際パネル外部評価継続	総括評価	評価検証・外部評価継続	最終評価	次期戦略策定
------------------------	------------------	------	------------------	------	-------------	------	--------

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）